

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2023~2024年度 No.283

7 月報

那須クラブ会長 主題

「若者と共に」成長しよう



強調月間：キックオフ
PR

今月の聖句 ヨハネ14：27

わたしは、平和をあなたがたに残し、私の平和を与える。
私はこれを、世が与えるように与えるではない。心を騒
がせるな。おびえるな。

7月第1例会（講演会）

日時：7月15日（土）午後5時30分～

場所：和厨房 遊膳 那須塩原市東町14-3

電話：0287-36-0105

内容：入会式・総会・歓迎会・祝会

司会：村田 榮副会長

開会点鐘・挨拶

会長 河野 順子

ワイズソング斉唱

一同

ワイズの信条の斉唱

一同

聖書朗読・祈祷

司会者

ゲスト・ビジターの紹介

入会式 立会人 鈴木 保江EMC・田村 修也副会長

入会者 原田 明子ワイズ

式文・バッジの装着

会長 河野 順子

総会

2022~2023年度事業報告並びに会計報告

2023~2024年度事業計画（案）

2023~2024年度会計予算（案）

その他

歓迎会・祝会

YMCA報告

ワイズ報告

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 河野 順子

会費 メン・メネット 4,000円

リーダー 1,000円

参加者は、準備の都合がありますので、12日（水）ま
でに河野会長（090-1997-2077）まで連絡を。

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウロセン（デンマーク）

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) 利根川 恵子(川越)

「改革のための光となろう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平(宇都宮)

「未来のために今、学びと気づきを！

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長： 大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

6月例会データ（出席率：71.4%）

在籍者 7名

出席者 4名 メーキャップ 1名

コメント 1名 ゲスト 18名（ユースリーダー2名）

7月 Happy Birthday

7/8 村田 紀美子 メネット

・8月第2（役員会）例会

日時：7月28日（金）午後4時30分から

場所：田村副会長宅

・第1回北東部評議会

日時：7月29日（土）

場所：福島市

・8月第1例会（塩谷キャンプ場下見、草刈り、納涼例会）

日時：8月19日（土）午前10時～

場所：塩谷キャンプ場

巻 頭 言

河野 順子

春の屋台祭り

令和5年4月15日（宵まつり）、16日（本まつり）は栃木県大田原市で屋台まつりが開催されました。このまつりは、江戸時代から200年続く大田原市を代表する伝統のおまつりです。

市内の旧町内にはそれぞれ8台の屋台を所持しており、当該の自治会が中心にお囃子やぶっつけなどの競い合いは、見事なものです。圧巻です。

私の所属する自治会は、「大手」地区である関係からほかの町内から比べると遙か遅い仲間入りをした新参ですが、旧町内の皆さんの暖かい支援を頂き、今は肩を並べています。

自治会を中心に商店会・公民館・睦会（長老ボランティア）・育成会・龍西会（屋台運行若衆）・お囃子会・事務方等、町民一丸となるまつりです。

私は、このまつり「大手」地区の賄いの統括責任者です。

4月10日には「屋台運行安全祈願祭」があり、屋台を繰り出す町内が事前に神社に奉告し、その後安全祈願の直会（なおり）の準備をします。そこから賄いは始まります。若衆ですから食卓にはそれなりの準備が必要です。

さて、まず賄いの大きな仕事は賄い人の募集です。先輩方は、婦人会のようなものがあり多くの女性が協力してくれたようです。が今は多くの女性も外で働いており休みを返上することになりかねません。事前に自治会の各組長さんをお願いして、各組から出席してもらいます。

宵まつりと本まつりで米55、5キログラム（3斗7升）に見合った献立を組み立て、賄いに協力してくれるメンバーに説明をします。賄い協力者の家族は平均4、5人と思われまます。それが気の遠くなるような量の食事を作るのです。ほんまつりの屋のおにぎりですえ、500個作ります。チームワークが必要です。現在は、町内といいましても顔見知りとは限りません。その方々が初めて共同作業をするのです。カレー、揚げ物、丼物、麺類等おおよそ550人分を作りました。ここでの発見です。

1. この人数分の献立と買い物（食料と器）、を予算内で購入する（天候によって参加者の人数が読めない）。これは、賄い責任者の私の役目。

2. 「今の若者は」と、良い意味で言われぬ最近、大手自治会の若衆の礼儀の正しさ、ことばの丁寧さ、時間厳守等、これから期待できることばかりでした。

3. 賄いメンバーが初めて出会った人達であるにもかかわらず、良き関係プレイで「明日もお手伝いに来ていいですか」との声や「今日時間が出来たので参加していいですか」など40歳代のメンバーが積極的に来てくださったことで、杞憂していたことが吹っ飛び難なく盛大に出来ました。まつりの裏方としては満足でした。

肉体的には非常に疲れましたが、老若男女の多くの方々が楽しみ、喜び、結束できた達成感が老体をむち打って1月準備から反省会まで出来たことに感謝です。



6月第1例会(公開講演会)報告

日時：6月17日(土)午前10時～

場所：西那須野教会

出席者：河野、田村、村田、平山の各メンバー、田村コメット、ゲスト：西那須野教会9名、その他2名、ユースリーダー2名、YMCAスタッフ1名、計19名

6月例会は、3月の公開講演会(ACPアドバンス・ケア・プランニング(人生会議))の続きを行いました。河野会長より最初に、前回のおさらいを兼ねてレジメにしたがってお話があり、前回の参加者と新しく来られた方を含めて、前回と同様に3のグループに分かれて話し合いを行いました。自分の状況、大切にしていること、医療及びケアについての希望、自分の将来のことを周囲の人にどのように伝えていくことが大切であるのかを実感することになりました。この話し合いは、何回やってもよいと感じました。



第26回東日本区大会報告

第26回東日本区大会が甲府(APIO 甲府)で開催された。那須クラブよりは、田村修也ワイズ、田村曉美メネット、田村有希子コメット、村田の4名で参加をした。

今回の大会には、メネットの母の突然の死とメネットの入院予定があり、参加しないつもりでおりましたが、5月20日に河野会長より、田村メンが今年度の理事伝賞受賞との連絡があり急遽参加することにした。宿泊場所は、仙台青葉城クラブの加藤メンにお願いをして何とか参加できることになりました。

参加当日は、朝方まで降っていた雨も上がって、早目に車で出かけました。高速道路で、順調なスタートと思っていたが、途中より雨が降り出し、大雨

による通行止めや渋滞情報があり、予定していた11時ごろに到着が、1時30分過ぎになり、大会も始まって、河野会長より依頼のバナーセレモニー参加に遅れて申し訳ないと思った。会場に入ると、バナーセレモニーの途中であったので、一番最後から何とか参加することができた。会場に着くころには雨も上がっていた。

対面での大会の雰囲気は、ZOOMでの大会参加とは違って大変素晴らしく、よかったです。

プログラムは、オープンセレモニーの後、メモリアルアワーがあり、理事報告、代議員会報告、各部長報告、各事業主任報告と続いた。

休憩後、石丸建二郎さんの講演は、ウエットに富んで、聞いている者の心をつかむお話でした。

今までなかった試みである、ユースアワーの時間は、山梨YMCAのユースの活動報告と松本クラブ支援留学生報告は、よい企画でした。成長しているユース・留学生の様子が伝わってきました。

昼食も取らず会場に駆け付けたので、待望の晩さん会。盛り上がっていました。田村さんご一家とはテーブルが違っておりました。



2日目、日曜礼拝から始まり、表彰式(各事業主任表彰からあり、那須クラブは、EMCノンドロップ賞をもらいました)。理事表彰に移り、那須クラブは、ブリテン優秀賞をいただきました。そして、栄えある奈良伝賞にわがクラブの田村修也ワイズと甲府クラブの鈴木健司ワイズが受賞されました。

田村ワイズの受賞のあいさつの中で一番印象に残った言葉が、メネットが「6月2日が56回目の結婚記念日で、神様に感謝」でした。

その後、理事交代式(山田公平理事は2年間の任期)と次期大会は十勝でのアップールがあり、終了をした。来年は十勝にゆっくりと行きたいものです。



3. しいたけ昆布の購入の件

今回は500グラム入りのパックのみの購入とする。次回からは仕入価格が値上がりしているのので、その分を勘案して値上げを行うこととする。

那須火山噴出物「流れ山」について(1)

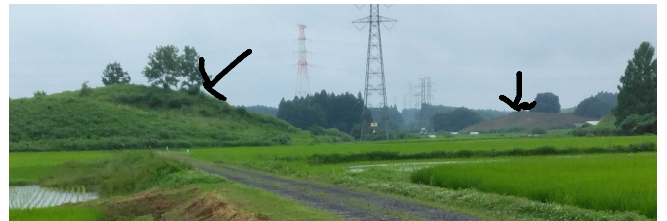
副会長 田村 修也

コロナが発生する迄は10年近く那須聖園老人ホームへ、月に1度第3火曜日に入所者の皆さんと一緒に懐かしい歌を歌うために訪問していました。

那須塩原市(旧西那須野町)に住んでいる私の所から聖園老人ホームへ行くのは、国道4号線を通って、那珂川に架かる名橋の晩翠橋を渡って、那須街道を左に見ながら直進します。

松尾芭蕉の奥の細道ゆかりの史跡である高久宿の句碑を右手に見ながら進むと、1998年に大降雨災害で氾濫した余笹川に来ます。

ここまで来ると、聖園老人ホームは間近かなのですが、このあたりから国道の右側にも左側にも、大きく土を盛った「こぶ」のような小さな丘が見えてきます。とても珍しい地形です。



那須町特有の地形かと思って那須町史を調べてみましたが、その始めに記載されている自然編の「地形」の記述の中には見出せませんでした。

しかし、「那須町および付近における災異年表」が掲載されていて、そこには那須茶臼岳の噴火の記録が載っていました。年代順に転記して見ますと、次のようになります。

○応永4年1月11日(1397, 2, 9)
噴火 茶臼岳爆発、近傍各村に被害降灰。一説に応永11年(1404年)とある。

○応永15年1月18日(1408, 2, 15)
噴火 茶臼岳噴火、硫黄の粉が降り、那須川の水は数年黄色を呈した。

○応永17年1月21日(1410, 2, 24)
噴火 茶臼岳噴火、当日雷のような鳴動。石にうたれたり、うまったり、山津波のようであった。使者80, 牛馬多数死。

○弘化3年7月(1846, 8)
噴火 茶臼岳噴火、この月より煙が絶えず。
○明治14年7月1日(1881, 7, 1)



7月第2例会(役員会)報告

日時: 6月23日(金)午後4時30分から
場所: 田村副会長宅

出席者: 河野会長、田村副会長、村田副会長、平山担当主事、田村暁美メネット

1. 7月例会の件

7月15日(土)午後5時30分から遊膳で開催する。内容は原田明子さんの入会式、総会。原田さんの歓迎会、田村さんの奈良傳賞受賞祝いを兼ねて行う。

2. 2023~2024年度年間計画の検討

河野会長の提案を検討し、その結果を整理して、総会に提出する。

噴火 茶臼岳噴火、鳴動はげしく、焼石・灰が河口付近で、その厚さ30センチメートル余、降灰白河まで及ぶ。那珂川の魚多数。

○明治17年10月29日(1884, 10, 29)

噴火 茶臼岳噴煙異常。白色やや多くなったがまもなく消える。同年11月から12月にかけて噴煙やや多し。

○昭和28年10月24日(1953, 10, 24)

爆発 茶臼岳爆発、南側6キロメートルにわたり降灰あり。

那須山・茶臼岳は、今も噴煙を上げている活火山です。今は県営の駐車場になっている所は、元硫黄生産の鉱山事務所が建っていたところです。

この応永17年1月21日(1410, 2, 24)の大噴火以前にも、大規模な茶臼岳の噴火があって、その爆発の時に大量の噴出物が、この国道4号線の両側に見ることが出来る小さな丘の群れなのでしょう。

興味をもって調べていましたところ、宇都宮大学名誉教授である阿久津純先生が発表された、これに関する論文が見つかりました。

阿久津純教授は、西那須野教会の信徒で、ご両親はアメリカ在住の時に出会い、阿久津純教授はそのご長男です。

2006年に天に召されましたが、生前は同じ教会で、同じ教会役員として共に過ごして参りましたが、専門の地質学での研究に付きましては、殆どお聞きすることはありませんでした。ただ、証しをされた時のことですが、「私の専門は地質なので、話は石のように固いのでご了承下さい」と言って話始められたことを覚えております。

また、私がCSの校長時代に、CSこどもまつりという集まりをしました。その時のプログラムの一つに、「何でも聞いてみよう」がありまして、牧師はじめ各信徒が、お菓子博士、お料理博士、病氣博士、テレビ博士、英語博士、森と林博士等々を分担して、近隣からも集まった多くの子どもたちの質問に答えました。その時に地質博士を担当したのが阿久津純先生で、子どもたちには一番人気がありました。それは何故かということ、先生は化石をたくさん持って来て、質問をした子どもたちにその化石をプレゼントしていたからです。

また、林務部現職時代には、森林土木事業担当職員の栃木県の地質現地研修の講師として指導していただきました。

これから何回かに分けて、阿久津純先生の論文「流れ山」を紹介させていただきます。 次号へ続く。

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

先日、刑務所教諭師をしていた時のA君が訪ねてくれました。彼は、来る度に高齢者介護現場からの高齢者福祉の課題について、熱心に話してくれます。その彼が天職ともいべき介護施設を辞めて、宅配業に転職したというので大変驚くと同時に理由が知りたくなりました。

というのも以前購入した「アマゾンの倉庫で絶望し、ウーバーの車で発狂した」(ジェームス・ブラッドワース 光文社)という本に、ギグ・ワークといわれる「アマゾン」、「コールセンター」、「ウーバー」というイギリスで最底辺の労働現場での過酷な体験記録が記されている内容を見たからです。副題にも、「潜入・最低賃金労働の現場」とあります。

彼によると介護施設での夜勤がなくなり、副業としていた食事宅配の収入が上回ってきたので離職したそうです。軽貨物の中古車を手に入れて本業となりました。年末・年始は、1日の稼ぎが5万円、3万円の日もあったそうです。「自由な時間も持てるし、労働時間も短時間で体に負担がかからない。タワーマンションに住む20代の若者達に食事を届けて、『全うな仕事をしているのか』と考え、地元では、倒れそうな家に住んでいるしょうがいのある方が、買い物に行けないので、一般より高い単価の食事を頼まざるを得ない不合理など、いろんな生活を垣間見てきた。今は、仕事の対象も広げモバイルバッテリーの回収もし、今日はそのついでもあり寄った」とのことでした。

世界経済のなかで、日本においては、先進国と言われているイギリスで最底辺の労働と言われている仕事の方が、介護職より収入が多いという現実には驚きました。

さて、江戸時代に「五公五民」という一揆の基準となる言葉があります。財務省は、2022年度の国民負担率(税金、保険料)は47.5%との見通しと報告しました。実際、ほぼこの基準になっています。多くの国会議員のいる日本で、大切な介護の仕事が先進国といわれる国の最底辺の労働よりも低い状況です。保育、教育も同類です。地域においても、市内の25%の児童が経済的困難におかれています。防衛費も海外援助も大切とは思いますが、政治や行政は真っ先に国民を大切に守って欲しいと強く思います。

これを書いていて、先日、年長の子ども達が、園の畑で収穫したことを思い出しました。収穫した小松菜を両手に持って、一人ひとりが「見て、見て」ととびっきりの笑顔で、収穫の喜びを私に報告してくれました。私達大人は、子ども達の笑顔、若者の希望を消してはいけなと強く思いました。そして、子ども達が大人の希望であることを改めて感じました。

YMCAだより

【サマープログラムの申し込みが開始されました！】

6月16日（金）よりサマープログラムの申し込みが始まりました！！

今年の夏、とちぎYMCAでは、2つのキャンプ、4つの日帰りプログラム、短期水泳、サッカーフェスティバルを実施します。今年度は申込がスタートしたその日にサーバーが落ちてしまうほどのアクセス数がありました。また、今年からICEP（International Campers' Exchange Program 青年国際交流キャンプ）が再開され15名の留学生が来日しました。今年のサマープログラムではICEPと共に過ごすプログラムなどもあります。

とちぎYMCAのボランティアリーダーが今年も子どもたちのためにプログラムの準備を頑張っています！プログラムに関わる全ての人が笑顔になることを目指していきます。



【全国リーダー研修会が開催されました】

5月4日～6日にかけて全国リーダー研修会がYMCAせとうちの倉敷市自然の家で行われました。とちぎYMCAからは2名のリーダー（内1名は那須YMCAのリーダー）が参加しました。「Youth must go on～見えていないものがほらそこに～」が、第54回全国YMCAリーダー研修会（以下、全リー研）のテーマです。途中で何が起こったとしても、ユースが最後まで課題に取り組んでいこうという思い、「全リー研をただのイベントとして終わらせず、各YMCAでユースとして課題に向き合ってほしい」という、実行委員の願いが込められていました。リーダーたちにとって良き学びの場にとちぎYMCA

もからもたくさんのリーダーを送りだしていきます。



【とちぎYMCA・那須YMCA 7月の予定】

- ・ 7/1（土） サタデークラブ@染物体験
- ・ 7/2（日） 野外炊飯リーダートレーニング @宇都宮市冒険活動センター
- ・ 7/8（土） サタデークラブ@科学実験
- ・ 7/9（日） あそぼ祭り@宇都宮市青少年活動センター
- ・ 7/15（土） サタデークラブ@水遊び@なかがわ水遊園
- ・ 7/24（月）～ サマープログラム開始

編集後記

・ 田村副会長の「私が住む地元の茶臼岳について」の連載が始まりました。皆様に興味を持っていただければ嬉しいです。

・ 各地で豪雨による被害が報告されています。毎年梅雨の末期に起こる出来度になってきたのかな？亡くなられた方々の冥福・ご遺族の方々の平安を祈ります。被害にあわれた方々の一日も早い復旧と復興を祈ります。